

廃棄予定のタバコ自動販売機を利活用し、日本茶の魅力をユニークな形で発信する

「Chabacco」を10月31日(月)より土山サービスエリアで販売開始
～甲賀市が誇る「土山茶」「朝宮茶」の魅力の発信を通じて、地域活性化に貢献します～

近江鉄道グループが運営する滋賀県甲賀市の土山サービスエリア(上下集約)(運営:土山ハイウェイサービス株式会社、本社:滋賀県甲賀市、代表取締役社長:植田 重弘)は、茶業の活性化を目指す株式会社クラフト・ティー(本社:静岡県榛原郡川根本町、代表取締役 新谷 健司)との協働により、「土山茶」、「朝宮茶」の生産地である滋賀県甲賀市に位置する新名神高速道路土山サービスエリア(上下線集約)にて、2022年10月31日(月)から販売を開始いたします。

「Chabacco(チャバコ)」は使用されなくなったタバコの自動販売機を利活用し、タバコサイズの箱に地域のお茶の粉末が入った商品で、土山サービスエリアでは、甲賀市にちなんだ「甲賀流忍者」等のデザインを施し、滋賀県甲賀市が誇る「土山茶(粉末)」と「朝宮茶(粉末)」をご提供します。



近年、喫煙者の減少にとともに、全国に設置されているタバコの自動販売機も減少しており、2019年には約2万台※1のタバコの自動販売機が廃棄されています。そのようななか、西武グループでは、「ロス」だと思われていたものを、価値に変える「LOSS TO VALUE」プロジェクト(<http://loss-value.com/>)を推進しております。同プロジェクトの一環として、2020年12月10日より、西武グループの伊豆箱根鉄道の駿豆線の3駅(三島駅・伊豆長岡駅・修善寺駅)、西武鉄道の4駅(所沢駅・本川越駅・西武園ゆうえんち駅・西武秩父駅)で「Chabacco」を販売しております。洒落の効いたお土産として、コロナ禍における非対面の購買スタイルについても、お客さまより大変ご好評をいただき、販売開始から累計で約39,000個を突破する人気のお土産となっています。

今回の発売にあたっては、近江土山頓宮産茶葉をはじめ、地元の茶園で摘み取られた茶葉を中心に、時が培った熟練の「焙じ」の技で、その茶葉が持つ美味しさを引き出す、株式会社マルヨシ近江茶(本社:滋賀県甲賀市土山町、代表取締役:吉永 健治)の土山茶・朝宮茶を使用します。詳細は、別紙のとおりです。

※1 「たばこの自動販売機の年間廃棄台数」日本自動販売システム機械工業会により出典。

<URL> <https://www.jvma.or.jp/information/fukyu2019.pdf> (2018年と2019年の普及台数の差より算出)

【別紙】

土山サービスエリア 「Chabacoo (チャバコ)」の販売について

【販売開始】 2022年10月31日(月) 11:00~
※「Chabacoo」の販売開始を記念し、土山サービスエリア下り線風除室にて、11:00から除幕式を行います。除幕式後、発売を開始いたします。
「830年前の1192年(建久2年)に臨濟宗の開祖・栄西が、宋から茶の種子と製法を持ち帰った日と言われる10月31日に販売いたします。」

【販売場所】 新名神高速道路土山サービスエリア(上下線集約)下り線風除室

【パッケージ】

- ①土山茶
表面デザイン・・・甲賀流忍者
裏面デザイン・・・近江鉄道700系
- ②朝宮茶
表面デザイン・・・土山たぬき
※土山サービスエリア オリジナルキャラクター、信楽焼たぬきと甲賀流忍者をイメージ、頭には茶葉がのっている
裏面デザイン・・・信楽高原鐵道SKR401形



※一時的に売切れとなる場合がございますので、ご容赦ください。

※近江鉄道株式会社、信楽高原鐵道株式会社商品化許諾済

【販売価格】 1箱600円(税込み)(1箱に8本の粉末茶スティック内包)

【関係者コメント：株式会社マルヨシ近江茶 代表取締役 吉永健治さま】
甲賀市の特産品である、土山茶の旨味と朝宮茶の香りを Chabacoo (チャバコ) でお楽しみください。

【Chabacoo についての問い合わせ】

株式会社クラフト・ティー <<https://crafttea.co.jp>>

【販売開始記念イベントについて】

日時 2022年10月31日(月) 11:00~12:00※なくなり次第、終了

場所 新名神高速道路土山サービスエリア 下り線側風除室

内容 Chabacoo (チャバコ) スティック (1本) とミネラルウォーター、
(350ml ペットボトル 1本) をセットでお渡しします。
(100名さま予定)

【同時販売について】

近江鉄道「彦根駅」「八日市駅」「貴生川駅」「近江八幡駅」の4駅でも同時に「Chabacoo」の販売を開始いたします。

※新型コロナウイルス感染症の感染拡大の状況によっては、企画のすべてまたは一部の中止・変更が生じる可能性があります。ご了承ください。

甲賀市は、滋賀県産の茶の約9割を生産しており、市を代表する特産品のひとつとなっています。

市内には2つの茶産地があり、それぞれ気候・栽培方法などが大きく異なっています。



【土山茶】

なだらかな丘陵地が続く土山地域では、江戸時代より生産が行われています。東海道の宿場町であったこともあり、街道で名物として売られていました。

人が乗って操作する大型の乗用機械を用いられ、県下で一番の生産量となっています。栽培面積は約200ha、生産量は約550t/年です。また、栽培中に黒い布で覆って日光を制限した、まろやかな味わいの「かぶせ茶」を多く生産しています。

【朝宮茶】

日本五大銘茶に数えられ、かつ約1200年前から栽培がはじまっていた最も古い産地のひとつです。信楽地域の西端、京都との県境に位置する山間地で、慣れていないと体を立てているのがつらいほどの傾斜地です。

よって大型の機械が使用できず生産量は多くありませんが、朝晩の冷え込みが厳しく、それがお茶をおいしくさせます。栽培面積は約90ha、生産量は約180t/年です。



《お客さまからのお問合せ先》

土山ハイウェイサービス株式会社

TEL.0748-66-1660 (9:00~20:00)

滋賀県甲賀市土山町南土山字尾巻甲 1122-74

<http://www.ohmitetudo.co.jp/sa/tsutiyama/>



土山サービスエリアは一般道からでもお越しいただけます